

桜谷軽便鉄道 南山線



キハD11 気動車とモハ1408号電車(風の峠車庫)

桜谷軽便鉄道南山線は、大阪府豊能町内で運行する、2001年8月に開通した15インチゲージ鉄道です。

『桜谷』駅と『風の峠』駅があり、両駅間を約2分で結びます。路線名の『南山』は当地の古い地名を頂きました。『桜谷』という名称は当地で昭和のはじめまで操業していた銅鉱山「桜谷鉱山」から、『風の峠』は宮沢賢治の『風の又三郎』や「銀河鉄道の夜」のモデルになった岩手軽便鉄道の終点「仙人峠」のイメージを重ね合わせて命名しました。

■ 軽便鉄道（けいべんてつどう）とは？

狭義では1910年に施行された『軽便鉄道法』に基づいて建設された低規格の鉄道を言いますが、一般にはJR線より軌間の狭い地方鉄道や森林・鉱山・産業用鉄道を意味して使われることが多いようです。

■ 15インチゲージ鉄道とは？

桜谷軽便鉄道は15インチゲージ鉄道です。ゲージとは二本のレールの間隔のことで、15インチ=381mmです。新幹線をはじめとする世界標準軌は4フィート8インチ半（1435mm）、JR線は3フィート6インチ（1067mm）が採用されています。

15インチ鉄道は20世紀初頭に英国の小規模鉱山や工場で使用されました。現在でも「ロムニー鉄道」や「レイブングラス鉄道」では、公共鉄道として旅客列車を運行しています。

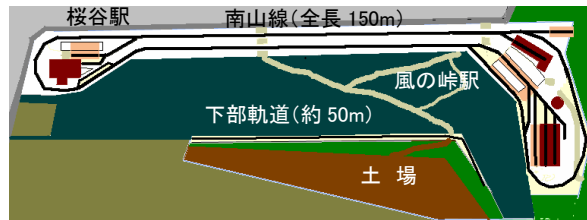
■ 運転会のご案内

毎月第1日曜の午後1:30頃～3:00頃、南山線で運転会を実施しています。運転会とは、どなたでも桜谷軽便鉄道の列車にご乗車いただけるイベントです。運転会の参加（見物および乗車）は無料です。運転には桜谷軽便鉄道が発行する運転免許（無料）が必要です。駐車場はありませんのでご来場には電車・バスをご利用ください。お体の不自由な方など、公共交通機関の利用が困難な場合はご相談ください。

■ 交通アクセス

JR宝塚線川西池田駅・阪急宝塚線川西能勢口駅から、能勢電鉄妙見口行きに乗車25分「妙見口」駅下車徒歩10分。国道477号線沿い、右手に「ときわ台」住宅地が見えると左手に家庭菜園用地「緑風台」の入り口が見えます。入り口に踏切警報機が立ち「桜谷軽便鉄道→」と書かれています。緑色の鉄門扉を入り坂道を登ると桜谷軽便鉄道があります。

<http://www.nakanoke.com/sakuradani/>



10号電車(風の峠駅に進入)



8号蒸気機関車(風の峠車庫)



デキ3とモハ7(風の峠駅を出発)



デキ12号機関車



7号機関車と300系客車(桜谷駅)

■ 現役車両

| 種別 | 番号 | 製造年月 | 備考 |
|----------|--------|----------|--------|
| ガソリン動車 | キハD11 | 2012年6月 | 静岡鉄道風 |
| 電車 | 10 | 2011年8月 | 上田交通風 |
| 客車 | ホハ7 | 2009年12月 | |
| 客車 | 61 | 2009年4月 | 下部軌道用 |
| 電気機関車 | デキ3 | 2006年7月 | 銚子電鉄風 |
| 電車 | モハ1408 | 2005年5月 | 秋保電車風 |
| 貨車 | ホト71 | 2004年11月 | 草軽電鉄風 |
| 客車 | ホハ150 | 2004年7月 | 草軽電鉄風 |
| 電気機関車 | デキ12 | 2004年1月 | 草軽電鉄風 |
| 客車 | 302 | 2002年2月 | |
| 客車 | 301 | 2001年12月 | |
| 蒸気機関車 | 8 | 2000年11月 | |
| バッテリー機関車 | 7 | 2000年5月 | 蒸気機関車型 |
| バッテリー機関車 | 2 | 1997年5月 | |
| 台車 | 16 | 1996年7月 | |
| 台車 | 28 | 1995年8月 | |

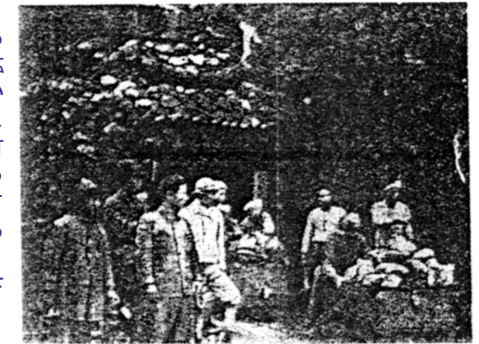
【桜谷鉱山】

桜谷(さくらだに)鉱山は、大阪府豊能郡豊能町内にあった銅鉱山である。明治・大正期に「銀・銅・亜鉛鉱山」として栄えたが、やがて衰退し、休止状態が続いた。ところが第二次世界大戦によって鉱山景気が起こり、この桜谷鉱山も再開されたという。現在は、町立の中学校の敷地になり、昔を偲ぶものはなにも残っていない。しかし、現在ベッドタウンとして賑わっているこの大地の地下には、幾筋もの坑道が眠っているといわれている。

『豊能町史』には「鉱山の再開発と消滅」と題して以下のような記述が見られる。

「1920年(大正九)以降、大阪府下では鉱山の採掘は全くみられなかったが、日中戦争開始後金属の価格が高騰するとともに、ふたたび鉱山採掘の動きがあらわれ、1939年(昭和十四)からは『大阪府統計書』に鉱石販売価格が一万円程あらわれる。吉川村の桜谷鉱山が再開されたのは1938年である。桜谷鉱山は、所在地吉川村、鉱種は銀・銅・亜鉛、坪数28,900坪、1930年(昭和五)に採掘許可を受けている。」

(日本の金属鉱山 <http://www.miningjapan.org/mine/sakuradani/> より)



戦時中再開された桜谷鉱山

【大阪朝日新聞 1938年10月14日付】